

平成 28 年度 第 1 回 上越市スポーツ推進審議会 次第

日 時 平成 28 年 8 月 2 日 (火) 午後 2 時から
会 場 上越市教育プラザ 研修棟 大会議室

1 開 会

2 任命書交付

3 あいさつ 上越市教育委員会教育部長 高橋 正弘
上越市スポーツ推進審議会委員長 倉石 義行

4 委員紹介 (自己紹介)

5 議 題

- (1) 「上越市総合教育プラン」第 3 期実施状況
平成 27 年度施策の事業推進報告及び評価 資料 1・2
- (2) 平成 28 年度体育関係施策・予算について
平成 28 年度重点施策について 資料 3
- (3) 「第 2 次上越市総合教育プラン」の策定日程について 資料 4
- (4) 今後の予定について 資料 5
- (5) その他

6 そ の 他

7 閉 会

平成28年度 上越市スポーツ推進委員名簿

No.	氏名(敬称略)	団体等	第3条 第2項	出欠表
1	榊原 潔	国立大学法人上越教育大学	(1)	○
2	小野島 惠次	高等学校体育連盟(高田高等学校長) 28年度新任	(2)	○
3	上野 裕文	中学校長会(雄志中学校長) 28年度新任	(2)	○
4	上村 淳	小学校長会(中郷小学校長) 28年度新任	(2)	○
5	今井 英一郎	(合併前上越市・剣道)	(3)	○
6	小日向 俊郎	(合併前上越市・野球)	(3)	○
7	有澤 真理子	(合併前上越市・水泳)	(3)	○
8	倉石 義行	一般財団法人上越市体育協会	(4)	○
9	山岸 由美子	上越市スポーツ推進委員会	(4)	○
10	白砂 弘	上越市運動普及推進員協議会	(4)	○
11	岡本 猛男	上越市レクリエーション協会	(4)	○
12	松井 和代	総合型地域スポーツクラブ (NPOさんわスポーツクラブ)	(4)	○
13	西澤 澄男	施設管理(リージョンプラザ館長) 28年度新任	(6)	○
14	塚田 常男	(合併前上越市・スキー)	(6)	×
15	深石 圭	(板倉区・バレーボール)	(6)	×

平成 27 年度主な事業推進

生涯スポーツの充実	◆子どもの体力づくり教室・指導者養成研修会	・指導者養成研修会【122人参加】
	◆ニュースポーツ、健康体力づくり運動の普及	・ニュースポーツ教室、健康体操教室【12,965人参加】 ・スポーツリーダー養成講習会【5回】 ・体力測定会【12会場】
	◆一般スポーツ活動推進事業 (事業支援及び教室・大会の開催)	・特色ある多様なスポーツ事業の支援【ドリームベースボールをはじめ44件の教室や大会、スポーツ事業に補助】
	◆少年スポーツ活動育成事業 (各種教室・大会の開催)	・各種教室や大会の開催【ジュニアスポーツ教室・大会支援、青少年スポーツ活動への財政支援】
競技スポーツの発展	◆スポーツ活動サポート事業	・小中学校の課外活動、地域スポーツ活動に外部指導者派遣【小学校344回、中学校1,045回】
	◆少年スポーツ活動育成事業 (ジュニアの競技力向上と指導者育成)	・ジュニアトップアスリート育成強化補助金【6団体】 ・スポーツ振興奨励金【申請131件】 ・少年スポーツ育成団体支援
	◆一般スポーツ活動推進事業 (アスリート育成強化、指導者発掘・育成)	・アスリート育成強化及び指導者養成・顕彰【スポーツ指導者養成事業補助、アスリート育成強化補助】
スポーツ環境の整備	◆スポーツ推進審議会 (スポーツ推進策の調査・審議)	・スポーツ推進審議会の開催【3回】
	◆総合型地域スポーツクラブの育成	・既存の総合型地域スポーツクラブの活動支援【研修会11月】
	◆スポーツ推進委員 (企画・立案、連絡調整)	・「スポーツ機関との連絡調整」の役割充実【推進委員66人】 ・健康・体力作り運動普及の企画・実施 ・出前講座の実施
	◆スポーツボランティア登録制度	・新潟県縦断駅伝競走大会、ファミリー綱引大会に協力
	◆学校体育施設開放事業	・市内の小学校(52校)及び中学校(22校)の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で市民に開放【567,877人利用】
	◆体育施設整備事業	・快適な利用を促進しスポーツ振興を図るため、老朽化した施設の改修及び設備の充実
	◆体育施設管理運営事業	・安全かつ快適にスポーツ活動に取り組む施設環境の提供(※指定管理運営業務委託を含む)
	◆オールシーズンプール管理運営	・オールシーズンプールの管理運営【97,893人利用】 ・施設の円滑な運営及び適切な維持管理

上越市総合教育プラン第3期実施状況

基本計画1-1 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

スポーツに対する意識を高め、身近なところで、誰もがスポーツ活動に参加できる機会をつくり、一人一人が健康で生きがいのある生活が送れるように、スポーツ環境を整備し、指導者と団体の育成に努めます。

■施策1 「生涯スポーツの充実」

◇目標

子どもから高齢者まで、すべての人がライフステージに応じたスポーツ活動に参加できるようスポーツ機会の充実を図るとともに、市民が主体的に参画するスポーツ団体を支援し、ふれあいの輪が広がる活動を推進します。

◇目標を達成するための事業等

◎子どものスポーツ機会の充実

(1) 幼児期からの体力づくり

- ・子どもの体力づくり指導者研修会
- ・子どもの体力づくり巡回教室
- ・親子体力づくり巡回教室

(2) 子どものスポーツ機会の充実

- ・スポーツ少年団等の活動支援
- ・ジュニアスポーツ大会・教室の開催及び支援
- ・スポーツ活動サポート事業（小学校）

◎ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

(1) スポーツ推進委員の活動促進

(2) スポーツ大会・教室等の開催及び支援

(3) えちご・くびき野 100 km マラソンの開催

◇成果指標

評価内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度
スポーツイベントの参加率を上げる。 ※参加率=年間のイベント参加者/人口 (25年度実績 28.5%)	参加率を 30%以上に する。	参加率を 30%以上に する。	参加率を 30%以上に する。
市内の総合型地域スポーツクラブ、体育協会 に所属する会員数 (25年度実績 25,127人)	25,800人	25,900人	26,000人

◇平成 27 年度達成状況

平成 27 年度評価	成果	達成見込
スポーツイベントの参加率 ※参加率=年間のイベント参加者/人口	26.0%	△
市内の総合型地域スポーツクラブ、体育協会に所属する会員数	25,428 人	△

《平成 27 年度の取組・成果》

- ・スポーツイベントへの参加率向上に向け、各種スポーツ大会や教室が開催されたが、多種多様な趣味や活動により、スポーツを取り巻く環境が日々変化していることに加え、少子高齢化の影響もあり、目標を上回ることができなかった。
- ・総合型地域スポーツクラブ等では、平成 28 年度から始まる施設使用料の減免基準の見直しに合わせ、新規会員の増加を図るための募集活動等を行ったことにより、前年比 1.2%の増加が図られたものの、目標を上回ることができなかった。

《今後の取組》

- ・子どもから高齢者までより多くの市民に対しスポーツに親しむ機会を提供するため、市民ニーズに合った教室等を開催し、市民がスポーツ活動に参加しやすい環境の充実を図る。
- ・総合型地域スポーツクラブにおける課題を整理し、新規設立の支援や会員数の減少等の課題の解決に取り組む。

■施策 2 「競技スポーツの発展」

◇目標

オリンピックに出場するなどトップレベル選手の輩出は市の誇りとなります。2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において活躍が期待される年代の選手の育成及び指導体制の強化を図ります。

◇目標を達成するための事業等

◎ジュニア期においてトップレベルを目指す支援の強化

(1) 小中高一貫指導システムの推進

学校体育・スポーツ連絡会等を協議の場として、ジュニア期における指導理念を共有し、複数の指導者が一貫した育成プログラムで強化に臨むことにより、選手の競技力向上を図る。

(2) アスリート育成強化学業の推進

上越市を拠点として活躍するアスリートを育成強化するとともに、小中高一貫指導システムにより、全国、世界で活躍できるジュニア層のトップアスリートを発掘・育成強化する。

(3) スポーツ振興奨励金制度の活用

児童生徒のスポーツ活動の振興を図るため、全国大会及び国際大会に出場する児童生徒、学校等に対して奨励金を交付する。

(4) スポーツ活動サポート事業（中学生）の実施

中学校の部活動において、専門的な技術指導を必要とする場合に外部指導者を派遣し、競技力向上を図りながら、地域社会と連携した活動を推進する。

◎ジュニア指導を中心とした指導者養成の支援の強化

競技団体による指導者養成事業を推進し、有資格者を増加させる等の措置を講ずることによって、ジュニア指導を中心とした指導体制の強化を図る。

◇成果指標

評価内容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
中高校生の北信越大会の出場者数 (25 年度実績 180 人)	85 人	100 人	100 人
小中高校生の全国大会出場者および国体出場者の数 (25 年度実績 93 人)	140 人	80 人	80 人

◇平成 27 年度達成状況

平成 27 年度評価	成果	達成見込み
中高校生の北信越大会の出場者数	162 人	○
小中高校生の全国大会出場者および国体出場者数	129 人	○

《平成 27 年度の取組・成果》

- ・ジュニア層の競技力向上を図るため、ジュニアトップアスリート育成強化事業等を通じ、競技団体への財政支援を継続し実施したことに加え、高校生については、バレーボール・ソフトボール等の団体種目において、北信越大会への出場者が増加したことから、目標を大きく上回ることができた。

《今後の取組》

- ・東京オリンピックに出場する選手を育成するため、更なるジュニア層への支援の強化を図るべく、ジュニアトップアスリート育成強化事業の対象基準の拡充を検討する。

■施策 3 「スポーツ環境の整備」

◇目標

身近な施設の有効活用や利用しやすいシステムづくりに努めるとともに、住民が自主的に参加できるスポーツ環境の整備及びスポーツに関する情報提供の充実に努めます。

◇目標を達成するための事業等

◎スポーツ施設の充実

- (1) 既存施設の適正管理と有効活用
- (2) ユニバーサルデザインを意識した施設の整備
- (3) 学校体育施設開放事業の実施
- (4) 施設利用の利便性の向上
- (5) スポーツ合宿及びスポーツ大会誘致の促進

◎住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

- (1) 総合型地域スポーツクラブの育成促進
- (2) スポーツ推進委員による体力づくり支援活動の実施
- (3) 障害者スポーツの推進
- (4) スポーツボランティア活動の促進
- (5) スポーツ推進審議会の開催

◎スポーツ情報の発信

- (1) いきいきスポーツ都市宣言の周知
- (2) スポーツアドバイザー事業による意識啓発
- (3) スポーツに関する情報の提供

◇成果指標

評価内容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
体育課が所管する体育施設と学校体育施設開放の人口 1 人当たりの年間利用回数 (25 年実績 6.74 回/人)	6.87 回/人	7.22 回/人	7.05 回/人
ニュースポーツ、出前講座、体力測定会の参加者を 15,000 人以上にする。 (25 年度実績 19,214 人)	年間参加者を 15,000 人以上にする。	年間参加者を 15,000 人以上にする。	年間参加者を 15,000 人以上にする。

◇平成 27 年度達成状況

平成 27 年度評価	成果	達成見込み
体育課が所管する体育施設と学校体育施設開放の人口 1 人当たりの年間利用回数	7.67 回/人	○
ニュースポーツ、出前講座、体力測定会の参加者数	12,965 人	△

《平成 27 年度の取組・成果》

- ・体育課が所管する体育施設を始め、学校の体育施設を有効活用したことにより、市民の健康増進とスポーツに親しむ機会を提供することができた。
- ・スポーツ推進委員が講師となって開催されたニュースポーツ、出前講座、体力測定会については、地域に根差した事業となっているが、市民エクササイズの講習会や小学校の P T A 活動における親子でのニュースポーツ講習会等において、例年より回数が少なかったことから目標を下回った。

《今後の取組》

- ・学校体育施設開放事業について、合併前の上越市では利用団体が年々増加傾向にあり、学校体育施設の利用調整が課題となっていることから、利用団体が利用しやすい環境を整えることにより、市民の健康増進とスポーツ振興を図っていく。
- ・ニュースポーツ、出前講座、体力測定会については、今後も継続して市民のスポーツに親しむ機会を提供していくとともに、周知活動を積極的に行っていく。

第2次教育総合プランの策定について

1 第2次教育総合プランの施策の範囲と実施期間

(1) 施策の範囲

学校教育分野・生涯学習・生涯スポーツ

(2) 実施期間

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
教育プラン		実施	————→				
実施計画		実施	————→		見直し	————→	

2 第2次教育総合プラン策定日程

日 程	各課取組内容	体育課取組内容
8月上旬	「27年度教育施策の点検・評価実施」	
8月2日		「第1回スポーツ推進審議会」 「平成27年度スポーツ施策の実施状況報告及び評価」の実施
8月末	教育総務課からプランの骨子について各課に説明	29年度以降の重点スポーツ施策作成
9月上旬	「27年度教育委員会の施策の点検・評価」公開	
9月下旬		「第2回スポーツ推進審議会」 「第2次上越市総合教育プラン」重点と評価の視点について説明、諮問
11月末	実施計画完成 教育委員に説明 定例教育委員会で各課より説明	
12月上旬	校了	
2月末		「第3回スポーツ推進審議会」 「第2次総合教育プラン」答申 「第2次総合教育プラン」に基づいた、平成29年度の体育関係施策・予算及び重点施策について説明
3月上旬	印刷 関係部局、学校関係配布	「スポーツ推進審議委員」へ「第2次総合教育プラン」体育関係の抜粋を配布

スポーツ推進の基本方針

上越市第6次総合計画
(H27～34年度)

いきいきスポーツ都市宣言

上越市総合教育プラン
(H19～28年度)

スポーツに親しみ、健康な心と体を培い、
ふれあいと支えあいの輪を広げ、活力あるまちづくりを進める

施策の柱① 生涯スポーツの充実

全ての市民が、ライフステージに応じてスポーツ活動に参加できる機会の充実を図り、市民の心と体の健康を育くむ。

- 日本体育大学との連携
 - ・日本体育大学との連携を図り、当市の更なるスポーツ推進につながる施策の企画・実施に取り組む。
- 子どもの体力づくり教室と指導者養成研修会
 - ・幼少期からの運動習慣を形成するため、各保育園等に指導者を配置できるように研修会を実施するとともに、体力づくり教室の活動など体を動かす機会の提供を図る。
- スポーツ推進委員の活動促進
 - ・地域のスポーツ推進役として推進委員 66 名人を配置し、実技指導や連絡調整等を通じ、誰もがスポーツに参加できる環境を整える。
- 各種スポーツ大会や教室の開催
 - ・市民の健康増進や運動習慣の定着を図るため各種スポーツ大会や教室の開催を支援する。

施策の柱② 競技スポーツの推進

市の誇りとなるトップレベル選手の輩出に向けジュニア選手層からの一貫した指導体制を確立し、スポーツ競技力を向上させる。

- 東京オリンピック合宿招致に係る取組
 - ・東京オリンピックの開催を契機として、スポーツ推進につなげるための取組を進める。
- ジュニアトップアスリート育成強化
 - ・年齢や学校枠を超えた一貫指導体制を整備し、全国・国際大会等で活躍できるジュニア選手の発掘及び育成・強化を図る。
- スポーツ活動へのサポート
 - ・中学校の部活動等において、専門的な技術指導が必要な際に指導者を派遣し、競技力向上につなげる。
- スポーツ振興奨励金制度
 - ・全国大会及び国際大会に出場するジュニア選手に対して、奨励金を交付する。

施策の柱③ スポーツ環境の整備

スポーツ施設の適切な維持管理を行うとともに施設の改修や設備の充実を図る。

- 体育施設の整備
 - ・ニーズにこたえる施設の設置、改修等整備を進める。
 - ・教育プラザ大小体育館の改修等・陸上競技場の改修・大潟体操アリーナの改修、スポーツ公園庭球場電気機器改修、三和スポーツセンター照明等改修他。
- 体育施設の管理運営
 - ・施設の修繕については、安全面や機能維持、利用者への影響を踏まえ、修繕基準に基づき優先度の高い個所から実施する。
- 学校体育施設開放事業
 - ・市内の小・中学校の体育館・グラウンドを有効活用し、一般利用者に供する。
- 施設の再配置に係る取組
 - ・公の施設の再配置計画に基づき、施設の統廃合に必要な取組を進める。

平成 28 年度体育関係施設・予算について

■施策の柱① 生涯スポーツの充実

全ての市民が、ライフステージに応じてスポーツ活動に参加できる機会の充実を図り、市民の心と体の健康を育くむ。
(単位：千円)

項目	内容	予算額	
		H27	H28
日本体育大学との連携	・日本体育大学との連携を図り、当市の更なるスポーツ推進につながる施策の企画・実施に取り組む。	-	167
子どもの体力づくり教室と指導者養成研修会	・幼少期からの運動習慣を形成するため、各保育園等に指導者を配置できるように研修会を実施するとともに、体力づくり教室の活動など体を動かす機会の提供を図る。	30	85
スポーツ推進委員の活動促進	・地域のスポーツ推進役として推進委員 66 名人を配置し、実技指導や連絡調整等を通じ、誰もがスポーツに参加できる環境を整える。	2,661	1,978
各種スポーツ大会や教室の開催	・市民の健康増進や運動習慣の定着を図るため各種スポーツ大会や教室の開催を支援する。	27,723	35,348

■施策の柱② 競技スポーツの推進

市の誇りとなるトップレベル選手の輩出に向けジュニア選手層からの一貫した指導体制を確立し、スポーツ競技力を向上させる。
(単位：千円)

項目	内容	予算額	
		H27	H28
東京オリンピック合宿招致に係る取組	・東京オリンピックの開催を契機として、スポーツ推進につなげるための取組を進める。	-	3,609
ジュニアトップアスリート育成強化	・年齢や学校枠を超えた一貫指導体制を整備し、全国・国際大会等で活躍できるジュニア選手の発掘及び育成・強化を図る。	1,250	1,250
スポーツ活動へのサポート	・中学校の部活動等において、専門的な技術指導が必要な際に指導者を派遣し、競技力向上につなげる。	4,466	3,884
スポーツ振興奨励金制度	・全国大会及び国際大会に出場するジュニア選手に対して、奨励金を交付する。	2,110	2,230

■施策の柱③ スポーツ環境の整備

スポーツ施設の適切な維持管理を行うとともに施設の改修や設備の充実を図る。
(単位：千円)

項目	内容	予算額	
		H27	H28
体育施設の整備	・ニーズにこたえる施設の設置、改修等整備を進める。 ・教育プラザ大小体育館の改修等、陸上競技場の改修、大潟体操アリーナの改修、スポーツ公園庭球場電気機器改修、三和スポーツセンター照明等改修他。	119,612	605,718
体育施設の管理運営	・施設の修繕については、安全面や機能維持、利用者への影響を踏まえ、修繕基準に基づき優先度の高い個所から実施する。	333,658	284,965
学校体育施設開放事業	・市内の小・中学校の体育館・グラウンドを有効活用し、一般利用者に供する。	5,931	5,374
施設の再配置に係る取組	・公の施設の再配置計画に基づき、施設の統廃合に必要な取組を進める。	-	-

平成28年度スポーツ推進審議会の日程（案）

第1回審議会 8月2日（火）

議 題

- (1) 「上越市総合教育プラン」第3期実施状況
平成27年度施策の事業報告及び評価
- (2) 平成28年度体育関係施策・予算について（報告）
平成28年度の重点施策について
- (3) 「第2次上越市総合教育プラン」の策定日程について
- (4) 今後の予定について
- (5) その他

第2回審議会 9月下旬 (案) 9月 日 ()

議 題

- (1) 「第2次上越市総合教育プラン」
「第2次上越市総合教育プラン」重点と評価の視点について説明、諮問
(スポーツ活動の普及及び推進、スポーツ競技力の向上)
- (2) 「ジュニアトップアスリートの育成強化策」について
- (3) 平成29年度体育関係施策・予算について（案）
平成29年度の重点施策について（案）
- (4) その他

第3回審議会 2月上旬～2月下旬 (案) 2月 日 ()

- (1) 「第2次総合教育プラン」答申
- (2) 平成29年度体育関係施策・予算について（説明）
平成29年度の重点施策について（説明）
- (3) その他